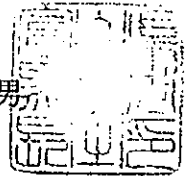


黒 建 第 1 3 3 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

黒部市長 堀 内 康 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別紙のとおり報告します。

地方における道路整備財源の確保

本市は、黒部峡谷をはじめ宇奈月温泉など豊かな自然を活かした多彩な観光資源や施設を有しており、北陸新幹線（仮称）新黒部駅の開業を起爆剤に滞在型観光など交流人口の拡大による地域活力の創造を図ることとしています。このためには、新幹線駅周辺の整備や地域内の連携を強化するための幹線道路の整備などが今後とも必要です。

また、本市は、高低差3,000mに及ぶ険しい地形と、山岳部の年間降雨量が4,000mm以上となる我が国屈指の多雨多雪地帯であることから、毎年のように崖崩れや、雪崩などにより中山間地域における唯一の道路が寸断されることもあります。市民が安心して暮らせるよう、これまでも道路防災対策等に努めています。また、まだまだ未整備の箇所が数多く残されています。さらに、これまで整備してきた橋梁等の老朽化に対応した計画的な維持・更新を進める必要もあります。

このために、これまでも道路特定財源を上回る費用を道路整備に充当してきましたところですが、引き続き、本市の活性化と安全・安心な地域づくりのためには、道路整備が必要であり、必要な道路整備財源の確保について、格段のご配慮をお願いしたい。

国家プロジェクトと一体となった道路整備に対する地方負担の軽減

国家プロジェクトである北陸新幹線は、沿線住民の長年の悲願であり、開業を契機に地域活性化を進めるため、観光振興や中心市街地の活性化などの各種施策を推進しているところ。本市においては、市中心部から東へ約3kmの位置に新幹線新駅が整備されることから、駅前広場やアクセス道路、駐車場、既存鉄道網との連絡路などの都市基盤についても、短期間に整備しなければならぬ状況にあります。

これらの道路関係事業は、本市において優先的に取り組むべき事業であり、国家プロジェクトである北陸新幹線整備と一体的な事業でもあり、また、その整備効果は広域的に及ぶものと考えられることから、補助率（交付率）の嵩上げや起債措置・交付税措置の充実など、なお一層の国のご支援が頂けるよう、ご配慮をお願いしたい。

総合的な防災対策を進めるための連携強化

本年2月に下新川海岸を襲った高波により、本市においても、背後地における浸水など大きな被害が発生しました。今後、被災した施設の早期復旧など海岸保全対策を推進していただくこととなり、特に、越波による浸水被害を防止する上で管理用通路や排水路の拡幅など道路空間の確保が大変有効な対策であるとされています。また、水防活動や避難等の充実にしても、道路の果たす役割は大変大きいものがあります。

今後、高波などに対する総合的な防災対策を講じるためには、防災施設の整備と道路整備を一体的に進めることが極めて重要であると考え、おり、防災対策と連携した道路事業費の拡充などについて、ご配慮をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案
②ー1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
● 本市の強み ・ 遅くとも平成26年度末までに開業することとされている北陸新幹線新駅が整備されることとなっている。 ・ 黒部峡谷、黒部川扇状地、生地などの湧水群など我が国有数の自然環境に恵まれている。 ・ 宇奈月温泉、黒部峡谷鉄道、世界的企業の観光産業など多彩な観光資源に恵まれている。 ・ 北陸本線、富山地方鉄道、黒部峡谷鉄道の鉄道網が充実している。 ・ 新川地域の工業・商業・医療の中心都市となっている。 ● 本市の弱み ・ 若者の流出や少子化により人口が減少傾向にある。 ・ 新幹線開業によるスロー現象が危惧される。 ・ 宇奈月温泉宿泊客数が減少している。 ・ 中心商店街が衰退傾向にある。 ・ 道路等公共施設の老朽化が進んでいる。	● 定住環境の充実 北陸新幹線の開業による利便性向上のための公共交通網の再編・充実、国道8号など広域幹線道路の整備や新幹線アクセス道路等の幹線道路の整備、密集市街地の整序等による都市機能の強化などの対策が求められている。 ● 安全で安心して生活できる防災体制等の強化 地震や津波、高波などの自然災害時における、緊急物資の輸送路や避難路ともなる道路の整備や防災機能の向上や、降積雪時においても地域経済活動や日常生活が停滞することがないよう、安定的な除雪体制の構築や、消融雪施設の整備が求められている。 また、道路等の社会資本の老朽化に対応した施設の更新や延命化対策など、効率的な施設の維持管理が求められている。 ● 自然環境の保全 恵まれた自然環境の保全を図るため、沿線環境と調和した道路整備が求められている。 ● 交流人口の増加による新たな地域活力の創造 北陸新幹線の開業を見据えた産業、観光の活性化を促進するため、国道8号バイパスなどの広域幹線道路の整備や、地域資源を有機的に連携する都市内幹線道路の整備が求められている。 また、新幹線駅周辺における新たな交流拠点づくりや、中心市街地の活性化が求められている。

○ 目指すべき将来像

大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部

○ まちづくりの基本目標

- ① 自然環境と共生し流域を育んだ水と緑の文化を創造するまち
- ② 多様な出会いの舞台となる産業・国際観光・交流のまち
- ③ 人々が互いに支え合い心豊かに安心して暮らせるまち

○ 道路関係施策の展開方針

- ① 新幹線駅周辺において、来訪者を魅了する観光と交流の拠点づくりを支援(地域活力の向上)
- ② 都市間・地区間の連携を強化や幹線道路の渋滞解消のための体系的な道路ネットワークの形成(都市交通の快適性、利便性の向上)
- ③ 電線類の地中化やバリアフリー化、歩行者の安全確保など、安全・安心・快適なみちづくりを推進(良好な生活空間の確保)
- ④ 行政・地域住民・民間企業が融合した冬季除雪管理など除雪体制の充実(良好な生活空間の確保)
- ⑤ 高齢者や障害者にもやさしい市街地の整備を推進(良好な生活空間の確保)
- ⑥ アメニティーの創出と居住環境の向上(良好な景観の形成)

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
富山県黒部市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	北陸新幹線新駅へのアクセス道路 (国道8号、新黒部駅前線、新堂中新線など)	交流人口の拡大 地域経済活動の活性化 交通安全の確保 など	
	国道8号入善黒部バイパス	慢性的な交通渋滞の解消 地域経済活動の活性化 災害時緊急輸送通路の充実 など	
・都市交通の快適性、利便性の向上	JR黒部駅前整備事業	交通渋滞の緩和(鉄道の利用促進) 交通安全の確保 市街地の活性化 など	
・良好な生活空間の確保	三日市土地区画整理事業	市街地の防災機能の向上 交通安全の確保 市街地の活性化、景観の向上 など	
・良好な景観の形成	電線類地中化事業事業 (宇奈月本線共同溝整備事業)	市街地の防災機能の向上 市街地の活性化、景観の向上 観光の振興 など	